

「マイナビ 2023 年卒大学生インターンシップ・就職活動準備実態調査(12 月)」を発表
「週休 3 日制」の企業で「働いてみたい」と思う割合は 59.0%
「年内にやっておけばよかった、もっと時間をかければよかった」と思う就活準備は「自己分析」

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023 年 3 月卒業予定の全国の大学 3 年生、大学院 1 年生（1,695 名）を対象に実施した、「マイナビ 2023 年卒大学生インターンシップ・就職活動準備実態調査（12 月）」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ 「年内にやっておけばよかった、もっと時間をかければよかった」と思う就活準備は「自己分析」【図 1】
- ◆ 「週休 3 日制」の企業で「働いてみたい」と思う割合は 59.0%【図 2、3、4】
- ◆ 働くときの服装について文理問わず人気なのは「オフィスカジュアル」、服装が入社意欲に影響する割合は 3 割程度【図 5、6】

【調査概要】

2023 年 3 月卒業見込みの全国の大学 3 年生、大学院 1 年生が、「年内にやっておけばよかった、もっと時間をかければよかった」と思う就活準備は「自己分析」が最多で 57.9%だった。就職活動準備という点、エントリーシート対策や面接対策などの選考準備のイメージが強いが、それだけでなく、“まず自分を知ることが大切である”と考えているようだ。また、文系学生では「業界研究」が 45.8%と理系学生よりも 13.8pt 高かった。学業と職業が連携しづらい文系学生にとって、就職活動準備期間で、自分の志望業界を明確にしていくことが重要となっているようだ。【図 1】

働き方改革の一環で耳にすることが増えた「週休 3 日制」だが、導入している企業に就職してみたいか」と聞いたところ、「ぜひ就職してみたい」が 29.7%、「どちらかという就職してみたい」が 29.3% であわせると 59.0%が就職してみたいという回答だった。一方、「(あまり+絶対に) 就職したくない」は 5.9%だった。「休日をどのように過ごしたいか」や「就職してみたいか」の問いに対する自由回答では、「週休 3 日制を取っている企業は少ないと思うので、先駆者となってチャレンジしている企業は、制度から見ただけでなく、色んな面からチャレンジして、社員のことを考える企業だと思わせてくれます。」や「現時点のような週休 2 日で、土日に向けて平日を最高のパフォーマンスで勤務場所で業務を全うした方が、生活にメリハリが出て良いように感じる。」などの意見がみられた。ただ休みが増えることを単純に喜ぶのではなく、入社後、理想とする働き方をイメージしながら、それぞれの考え方がわかる。【図 2、3、4】

働くときの理想の服装については、「オフィスカジュアル」が最多で 50.1%、文系女子では 63.9%だった。理系学生では男女ともに「制服・ユニフォーム（作業服・白衣など）」がそれぞれ 2 割強となっていた。理系学生は技術職や研究職、薬剤師などの専門職への就職を目指すケースが多いためだと思われる。一方、働くときの服装が入社意欲に影響する割合は全体で 33.1%（「非常にそう思う」+「まあそう思う」の合計）で、服装が直接的に入社意欲に影響を及ぼす割合はそれほど高くない。服装ありきで入社意欲が決まるというより、理想像として、働く自分の姿をイメージした際の服装を回答したのではないかと推察される。【図 5、6】

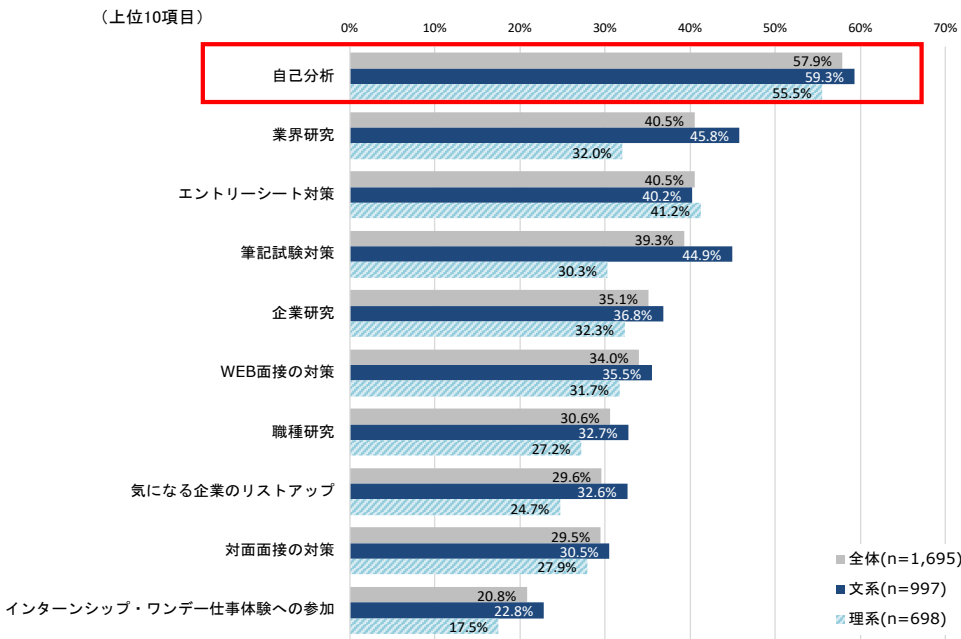
【調査担当者コメント】

本調査で「年内にやっておけばよかった、もっと時間をかければよかったと思う就活準備」を聞き、「自己分析」という回答を得ました。就職活動を終えた方と同じ質問をしても毎回、この「自己分析」の回答割合が高くなります。就職活動の準備という点、エントリーシートや面接の対策など、ノウハウの取得に気持ちが向きがちかもしれませんが、それ以上に、まず自分の棚卸を行い、自分自身を理解することが必要だと感じるようです。ただ、自分と向き合

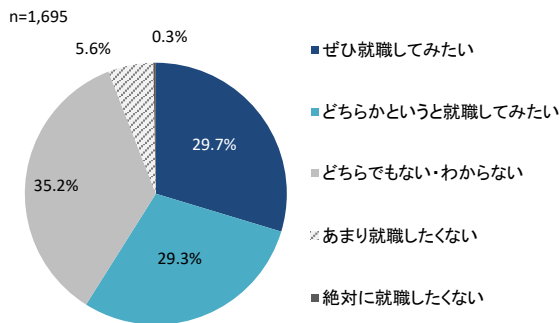
うことは時に大変なことだとも思います。そういうときは、キャリアセンターの方に相談するなどのサポートを得てもよいですし、インターンシップなどに参加して、社会人や学外の学生と交流し、刺激をもらうのも良いと思います。就職活動が始まる今の時期こそ、ゆっくと自分の過去・今・未来と向き合う機会を大切にしてください。

キャリアリサーチラボ 研究員 東郷 こずえ

【図1】「年内にやっておけばよかった、もっと時間をかければよかった」と思う就活準備

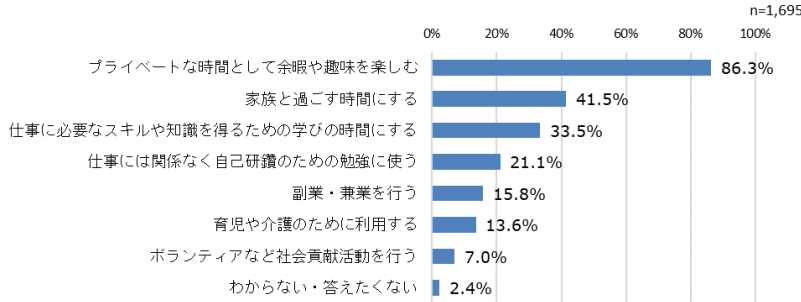


【図2】週休3日制を導入している企業に就職してみたいか





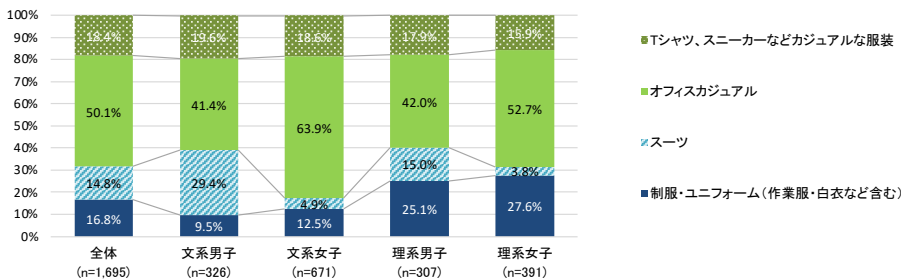
【図3】 週休3日制の会社で働くとしたら、休日をどのように過ごしたいか



【図4】 週休3日制を導入している企業について就職してみたいか回答した理由（自由回答）

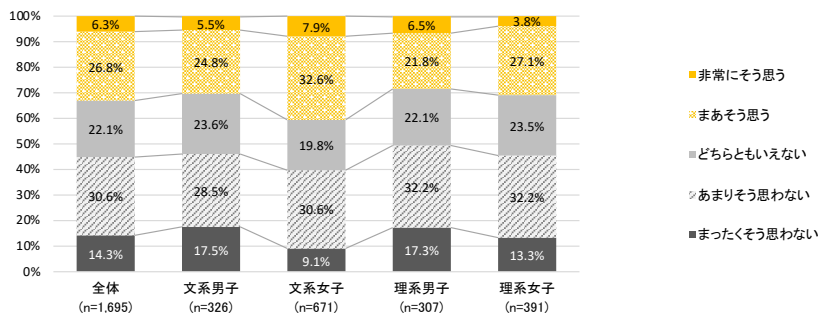
属性	回答結果	内容
文系女子	どちらかという と就職してみたい	週休3日制を取っている企業は少ないと思うので、先駆者となってチャレンジしている企業は、制度から見るだけでなく、色んな面からチャレンジして、社員のことを考える企業だと思わせてくれます。大体の企業は業績等に目を向けて、社員はひたすら働くイメージがありますが、週休3日制を取り入れていると、業績にも社員にも目を向けている証拠だと感じるので、そのような企業には、就職してみたいと考えました。
文系男子	どちらかという と就職してみたい	休みが多く、プライベートの時間が増えるのはありがたいが、その分一日一日の仕事量や労働時間が増える可能性がある。また、もし、労働時間が増えなかったとしても、その分給料が減ることが予想されるため、一日の負担と給料の点から考えると就職したいとは思わない。しかし、プライベートの時間が増えるのは単純に嬉しいため、もしそのような懸念がない場合は就職したいと強く思う。
理系男子	あまり就職した くない	確かに、休める日数が増えるのは自分だけの時間を多く作りやすいという点で良いかもしれないが、在宅ワークでも不自由なくできることが実証された現在においては、十分な休息というのは丸々3日確保できるとは考えられない。それよりは、現時点のような週休2日で、土日に向けて平日を最高のパフォーマンスで勤務場所で業務を全うした方が、生活にメリハリが出て良いように感じる。
文系男子	あまり就職した くない	週休3日というのが自分にとってはちょっと多くて、新卒でまだ何も力や知識がないのに、多く休むと早く仕事に慣れないし、早く成長できないと私は考える。また、休みが多いと、給料も下がってしまうのではないかとと思う。したがって、私はあまりそのような会社に入りたくない。
理系女子	あまり就職した くない	週休3日制になったところで育児が楽になるとは思わないから。大企業は原則副業禁止のため、副業禁止で週休3日制になると給料の不安が大きい。育児を楽にというのがあれば、子供の急病時に有給が取れるようにして欲しい。

【図5】 社会人になった際、日々どのような服装で働くことが理想か





【図6】 社会人になった際にどのような服装で働くかが、企業への入社意欲に影響すると思うか



【調査概要】「マイナビ 2023 年卒大学生インターンシップ・就職活動準備実態調査（12月）」

- 調査期間／2021年12月21日（火）～12月31日（金）
- 調査方法／マイナビ2023の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2023年3月卒業見込みの全国の大学3年生、大学院1年生
- 有効回答数／1,695名（文系男子326名 理系男子307名 文系女子671名 理系女子391名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

書式を変更：文字間隔広く 2 pt

書式を変更：文字間隔広く 1 pt

書式を変更：文字間隔広く 2 pt

書式を変更：文字間隔広く 1 pt

書式を変更：文字間隔広く 2 pt

書式を変更：文字間隔広く 1 pt

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 キャリアリサーチラボ 主任研究員 東郷
 Tel : 03-6267-4571 Fax : 03-6267-4145
 Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部 石井
 Tel : 03-6267-4155 Fax : 03-6267-4050
 Email : koho@mynavi.jp